

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立義務教育学校八束学園前期課程）

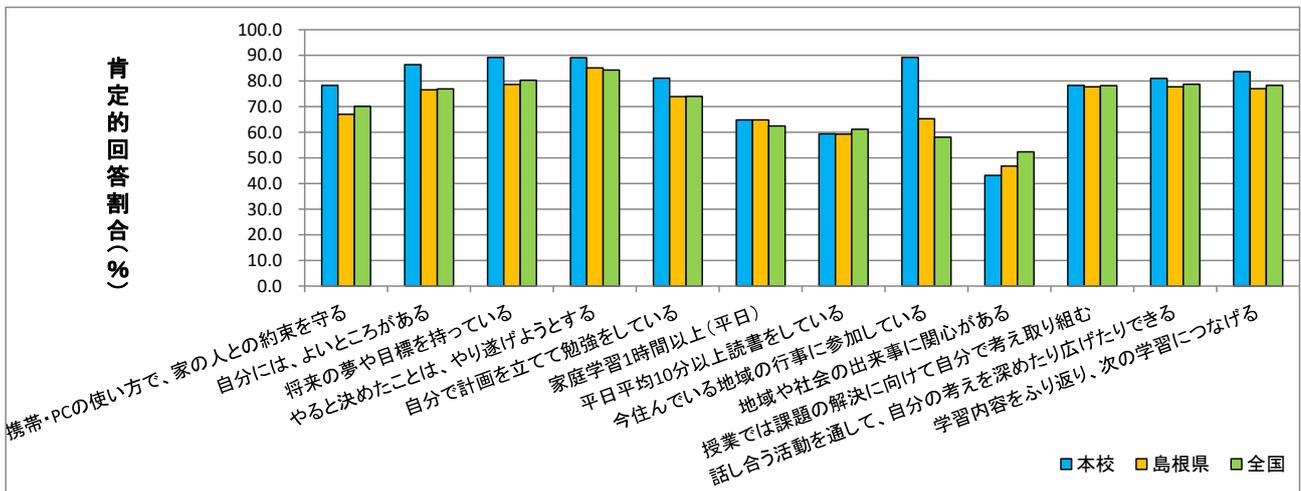
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
国語	○全国平均と比較して、正答率が高い。また、無解答が少ない。基礎的な力が概ね定着している。特に漢字、文章の構成はよく身に付いている。 ●自分の考えを表現すること、記述式の問題の解答に課題がある。	・自分の考えを文章で表現する力を養うために、書く機会を意図的に増やし、経験を多く積ませる。 ・書く力を高めるために、自分の意見と友達の意見を比較したり、文章を要約したりする学習活動をいろいろな場面で行う。
算数	○全国平均と比較して、選択式、短答式の問題形式や「C 変化と関係」についての正答率が高い。知識や技能はおおむね定着している児童が多い。 ●正答数分布グラフから、学力が二極化している。 ●理由や考え方を問われるような記述式の解答に課題がある。	・個人思考の時間を確保し、自分の考えをもって対話や発表に臨むようにする。それにより、他者と比較してよりよい解法や伝え方を見出せるようにする。 ・文章に書いたり解答方法を図や表を使いながら言葉で説明したりする表現活動を積極的に取り入れ、学び合いを充実させる。

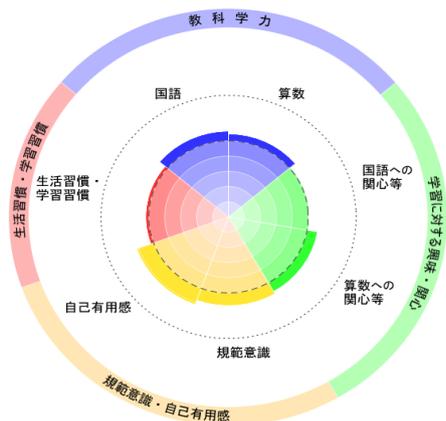
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
○自らの夢や目標を持ち、自ら計画をたてて決めたことをやりとげることができる。また、授業に意欲的に取り組み、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。 ●地域や社会の出来事には関心が低い。	新聞やテレビのニュースを取り上げ、それについて自分の考えをまとめるなどの学習を取り入れていく。また、総合的な学習の時間などを通して、地域との関わりを深める。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

読書に関する項目がやや低い傾向が見られることが、教科の課題にもつながっていると考えられるので、今後、読書指導にも力を入れていきたい。

【受検者数】 37 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。